

「令和3年度熊本県高校生ソフトテニス選手権大会兼第76回国体ソフトテニス競技
熊本県代表選手選考会少年の部第一次予選会感染防止対策ガイドライン」

熊本県ソフトテニス連盟
高校の部

今大会は、**無観客**で行います。

大会に参加できるのは、**顧問、登録選手とプラス2人(控え選手またはマネージャー)**です。

参加者は大会当日、自宅で検温を行って下さい。また大会会場に到着後も再度検温をお願いします。

※ 各校顧問の責任において、以下のガイドラインに基づいて感染防止対策をお願いします。

1 大会の参加規定

- (1) 参加者は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、**検温確認表(別紙2)**に必要事項を記入し、**受付時に提出すること**。なお、顧問は参加する生徒の体調管理に努めること。
- (2) 以下のア〜カに該当する場合は、大会に参加できない。
 - ア 感染が判明し、治療していない場合。
 - イ 濃厚接触者に特定され、起算日から2週間経過していない場合。
 - ウ PCR検査を受けて、陰性が判明していない場合。
 - エ 発熱(37.5℃以上の熱)等風邪症状や息苦しさ、倦怠感、味覚・臭覚障害等の症状がみられる場合。
 - オ 同居家族に発熱等の風邪症状がみられる場合。
 - カ その他、保健所から参加を控えるように指示があった場合。

2 大会期間における感染防止対策規定

(1) 全般

- ア 大会会場では、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを行い、**マスクを着用すること**。
- イ 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませること。
- ウ 大会当日の受付においては、男女分かれて適切な距離を取り並ぶこと。
- エ 感染防止のため、各自で使用した場所などの消毒を行うこと。
- オ 飲食を伴う場面では、対面を避け、消毒、間隔、黙食に留意すること。

(2) 選手

- ア 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、**試合の前後ではマスクを着用すること**。ただし、申し出があれば、競技中もマスクの着用は可能である。
- イ コートに出入りする際は、出入口等に設置してある消毒液を利用して感染防止に努めること。
- ウ 審判の際、使用する**筆記用具**やジャッジペーパーを挟む**ボード**(下敷きでも良い)については、**各学校で準備をすること**。また、**必ずマスクを着用すること**。
- エ コート内のベンチ周辺については、各学校で使用前後に**必ず消毒を行うこと**。
各学校で消毒液の準備をお願いします
- オ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はサービスライン上で行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とする。
- カ ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。ペアで話をする際には、対面しないように努めること。
- キ 待機選手はコート外で一定間隔を保ち応援するよう努めること。
- ク 用具、用品(ラケット、タオル、ウェアなど)のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。

(3) 観客

ア 声を出しての応援を禁止とし、**拍手のみの応援**とする。また観客席が「密」にならないように、一定の距離(2m以上)を保って観戦すること。 **各学校で注意喚起をお願いします**

イ プライベートテントを持参のチームは、会場見取図(別紙)のチームテントの場所での使用を認める。ただし、テント間の距離を2メートル以上離すこと。

ウ ごみ処理での感染を防止するために、ゴミは各自持ち帰ること。

3 感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

(1) チーム内などにおいて、感染者または濃厚接触者が発生した場合は、直ちに大会関係者に連絡すること。